

常設展示室



ここには、マッコウクジラとミンククジラの骨格標本が展示されています。マッコウクジラはハクジラ類最大の種類で、展示されている骨格は完全標本としては世界最大級。

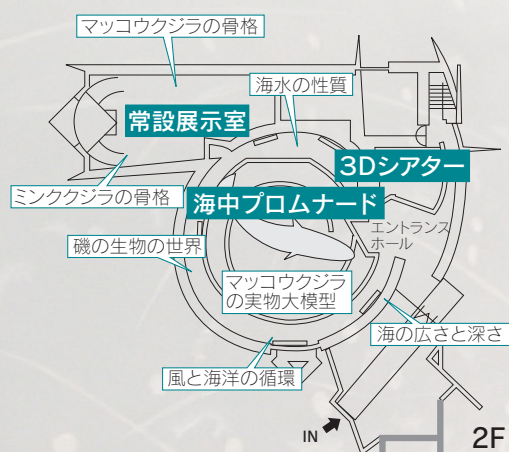
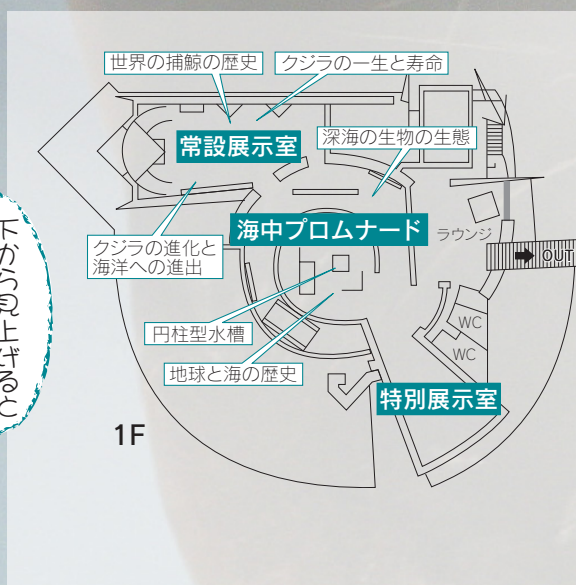
この骨格標本ができるまでには、なんと3年の月日が費やされています。前須賀海岸の砂地に埋め油抜きをしたあと、鯨の研究者の指導の下、地元の人たちや児童・生徒によって丁寧に掘り出されたものです。展示室内のミニシアターでは、この骨格標本が出来上がるまでの物語をご覧くださいことができます。

また、鯨や捕鯨に関する資料も豊富に展示。マッコウクジラの骨の一部やミンククジラのひげは手で触ることもできます。

◆館内マップ



下から見上げるこ
恐竜の骨みたい！



特別展示室



三陸の漁業や鯨に関する資料をパネルで紹介、山田で行われていた捕鯨の様子も写真で見ることができます。また、大型のアンモナイトの化石なども展示。そのほか年に数回、独自の企画展を開催しています。

海中プロムナード

大きな吹き抜けの空間は、全体で海中を表現しています。らせん状のスロープの途中には、リアス式海岸特有の入り組んだ山田湾・船越湾で育つ多種多様な海藻の標本を展示。また、大小の魚や磯辺の小動物などの海洋生物がグラフィックで描き出されています。

